

なべしま新聞



物心ついた頃から、映画が好きでした。銀幕は夢の世界ですが、幼い頃はそこに本当の世界が広がっていて、人がいると思っていました。

昭和三十年代、湯河原にも、コデン座とキネマ座という映画館があって、東映のチャンバラ映画や、石原裕次郎の映画が、二本立て三本立てでかかっていた。娯楽の少ない時代ですから、いつも盛況でした。

ある時、友達と二人で、入り口に立ち並ぶ大人たちに紛れてさっと忍び込んだことがあります。子供心にも罪意識があつて座席にすわることができず、端の傾斜したコンクリートにしゃがんでいました。恐る恐る映画を見ていると、突然私を呼ぶ声があります。父でした。怒られる、と思ったら声も出ません。

「カズ坊、こっちへ来て座れ」と父の声、覚悟して隣にすわると、父は何も言わず映像を見られています。私は映画の筋も虚ろになり、いてもたってもいられませんでした。しかし、休憩時間には父がアイスモナカを買ってきてくれました。それまでの父は怖い存在で、二人だけで出かけるなんてことさえありませんでしたので、意外な父の優しさを感じました。あの時、切符を買わずに入場したことを、亡き父は知っていたのだろうか、コデン座のあった場所を通る度に思い出します。友達ですか？実は、いつの間にか、姿を消していました・・・やっぱり恐かったのでしょうか？



【自宅事務所】ヤオハン前通りから幕山公園通りへ向かい、信号機手前三軒目です。右から、電化製品と電気工事に腕を振るう「愛ランド OKEMOTO」さん、一級技能士である「ふとんのおおやま」さん、そして、私の自宅です。一階で仕事しています。

これだけ拓けている中央区も、その昔は田んぼだらけでした。いつも稲むら崩しをして、農家のおじさんおばさんに怒られたものです。今では、みんな住宅街になっています。時代は変わるものですね。

《ご紹介》

ソーラーサーキット工法の家

私達にとって住宅は、人生最大の買い物ですね。何度も建て替えることはできませんので、後悔しない建築法を選びたいものです。

保科建築さんでは、外断熱・二重通気工法が健康で快適な住まい造りを実現すると確信し、採用したそうです。断熱の効果で、夏さわやか、冬暖かい快適空間を演出し、ダニ・カビ、結露の発生も抑え、アレルギーや化学反応過敏症にも抑制効果を発揮することです。通気・換気を考慮し、お年寄りやお子様にも安心なバリアフリー設計・施工がポリシーの保科建築さんをご紹介しました。

【保科建築店】住所 湯河原町中央4丁目3番地5
電話 0465-62-6243



日替りランチ六百円はうれしい！

私の家の前に、民宿をしながら定食屋さんを営業している「ふじもと」さんがあります。日替わりランチが美味しくて利用しています。家庭料理の味なので何回行っても飽きません。お母さんは気さくで明るい方で、気軽に暖簾をくぐることができます。気学を勉強し資格も持っているとかでお客様から様々な相談を受けることが多いようです。私も人生に迷った時は、ランチを食べながら色々と相談しています。

なべしま新聞 発行者 鍋島一博
湯河原町中央区2-18-26 郵便番号 259-0301
電話番号 0465-62-5367
携帯電話 090-7633-2740
E-mail kaznabeshima@aol.com

【勤務先】
東京海上火災保険株式会社 小田原支社
小田原市栄町1-8-1 〒250-0011
電話 0465(23)1281

【仕事内容】
・経営相談・財務・営業推進・人財教育・組織改革 etc.
・総合リスクコンサルティング

【取得資格】
・宅地建物取引主任者 ・銀行業務検定 財務2級
・法務2級 ・税務3級 ・全信協上級実務試験
・証券外務員 ・全国空手道連盟二段
・中高校社会科教員免許状